

『大成算経』の数学的・歴史学的研究

A Mathematical and Historical Research on the "Taisei Sankei"

RIMS 共同研究として、近世日本数学史で重要な文献である『大成算経』にテーマを絞った小規模な研究集会を企画しました。関孝和、建部賢明、建部賢弘の数学に興味を持たれる方はどなたでもご参加ください。歓迎します。

研究代表者：森本光生（上智大学・名誉教授）

日程：2012年2月9日（木）—10日（金）

場所：京都大学 数理解析研究所 111号室

プログラム

2012年2月9日（木）

10:00 - 11:00 徐沢林教授を囲んで研究連絡

徐沢林（中国・東華大学）：中国における和算の研究状況（15分）、

小川東（四日市大学）：名古屋数学史セミナーの経緯、研究状況（15分）、

その他、関連ある話題について討議します。（30分）

11:00 - 11:30 森本光生（上智大学）：『大成算経』の内部構成

11:30 - 12:00 尾崎文秋（九州大学）：『大成算経』の象法について

昼食（11:30 - 13:00）

13:00 - 14:00 小松彦三郎（東京大学）：研究発表（題未定）

14:00 - 15:00 徐沢林（中国・東華大学）：中国語文献としてみた『大成算経』（仮題）

15:00 - 16:00 上野健爾（京都大学）：関孝和の数学と『大成算経』

16:00 - 17:00 藤井康生（四日市大学）：『大成算経』巻之十六（後集）について

2012年2月10日（金）

9:00 - 10:00 小松彦三郎（東京大学）：『大成算経』の校訂について

10:00 - 11:00 真島秀行（お茶の水女子大学）：『解伏題之法』の行列式と『大成算経』の行列式について

11:00 - 12:00 松本堯生（広島大学）：『大成算経』における消去法、解伏題之法及び算法発揮との比較

昼食（11:30 - 13:00）

13:00 - 14:00 長田直樹（東京女子大学）：関孝和と『大成算経』

14:00 - 15:00 小川 東（四日市大学）：『大成算経』の「雑技」について

15:00 - 17:00 京都大学数学図書室で、『大成算経』閲覧（参加自由）

発表者の方へ：1時間の研究発表は45分の講演と15分の討議、30分の研究発表は20分の講演と10分の討議と想定しています。

講究録は5冊を予定しています。

1. 『大成算経』小松校訂本第1分冊（総目次・首篇、卷之一から卷之四まで）
2. 『大成算経』小松校訂本第2分冊（卷之五から卷之九まで）
3. 『大成算経』小松校訂本第3分冊（卷之十から卷之十五まで）
4. 『大成算経』小松校訂本第4分冊（卷之十六から卷之二十まで）
5. 研究集会報告集